

CCSP 難易度

完全解説

最難関級の実態と合格・認定の全戦略

受験料 599 ドル・3 年 90CPE の維持実態を解説



合格率非公開ってどう判断するでしょう？

序列と試験形式で測ればいい。



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● 試験形式：125 問・3 時間・700 点



試験の基本スペック

CBT 多肢選択式、125 問・3 時間・英語 / 日本語対応



合格ライン・変更点

1000 点中 700 点。2024 年 8 月に 125 問・3 時間へ短縮



難易度の核心

700 点は暗記でなく理解の深さを測る設計



ISC2 資格の難易度序列

1

CC (入門)

セキュリティ基礎。無料で取得可能な入門資格

2

SSCP

技術者向け。実務経験 1 年以上が前提

3

CCSP

クラウド特化の上位資格。支援士と同等以上の難度

4

CISSP (最難関)

セキュリティ全般を横断。管理層も対象とした最上位

序列で見れば位置は一目瞭然だ。



● CCSP が難しい 3 つの理由



6 ドメインの広さ

設計から法務まで全体を横断した理解が必要



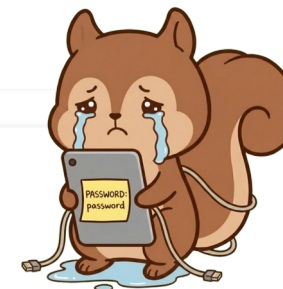
応用力が問われる

状況判断型の設問が中心。暗記では対応不可



認定の経験要件

IT5 年・セキュリティ 3 年の実務証明が必要



3 つは試験・思考法・認定と異なる層で機能する複合的な壁



● 6 ドメインの出題範囲



クラウド設計・データ・インフラ

設計思想・データセキュリティ・基盤の3領域をカバー



アプリ・運用・法令コンプライアンス

アプリ・運用・法務の3領域。ベンダー中立で体系的



広さの核心

守備範囲の広さそのものが学習量と難易度を引き上げる



● 認定の実務経験要件



IT5年・セキュリティ3年

うち1年はCCSPの6ドメインのいずれかの経験が必要



準会員制度（Associate）

経験不足でも合格後に最長6年の猶予で認定を目指す



認定の核心

試験より認定要件のほうが高い壁になる点に注意

● CISSP vs CCSP : 何が違うか

CISSP

セキュリティ全般最難関

- ・ 情報セキュリティ全般を横断
- ・ 管理職・ CISO 層も対象
- ・ 8 ドメイン・ 広く深い出題

VS

CCSP

クラウド特化の上位資格

- ・ クラウドセキュリティに集中
- ・ 設計・ 運用の実務者向け
- ・ 6 ドメイン・ クラウドを深く問う



選択の軸

クラウド案件なら CCSP 。幅広いマネジメントは CISSP から

● 情報処理安全確保支援士 vs CCSP

情報処理安全確保支援士



国家資格（日本）

合格率 15 ～ 19% 台（2024 年度）



日本語のみ

国内での信用力・法的な認知が高い



維持コスト低め

登録・講習費用。年会費なし

CCSP



国際資格

英語・日本語対応、合格率非公開



グローバル対応

クラウド案件・海外展開に強い



維持コスト高め

年会費 135 ドル + 3 年 90CPE 必要



勉強時間の目安



クラウド実務経験あり

100 ～ 200 時間が目安。実務感覚で解答の勘所をつかみやすい



クラウド未経験

300 ～ 400 時間。AWS など基礎学習を先に済ませると安全



計画の核心

現在地を正直に見積もることが計画精度を左右する



● 独学の学習ステップ4つ

1

全体像を通読

公式ガイドで6ドメインの構造と全体像を把握する

2

要点を要約

各ドメインの要点を自分の言葉でノートにまとめる

3

模擬問題を解く

間違いの「なぜ」を言語化して思考法を積み上げる

4

判断精度を高める

状況判断型の設問に慣れ、消去法の精度を鍛える

丸暗記は通用しない。理由を積み。



● 受験料と資格維持の費用



受験料 599 ドル・年会費 135

CISSP 等との複数保有でも年会費は 135 ドルで一律



CPE90 クレジット (3 年)

未達成で資格失効。カンファレンス参加等で取得可能



費用の本質

維持費より継続学習義務が長期投資の本当のコスト

● 取得後のキャリアと案件単価



正社員での評価

クラウドセキュリティ設計を担える人材として転職市場で有利



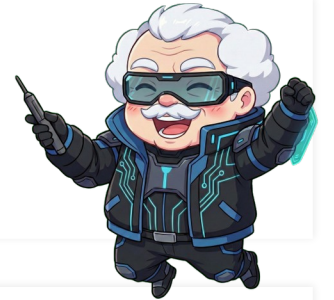
フリーランス案件単価

設計・構築の上流工程の高単価案件へ参画しやすくなる



資格の核心

ベンダー中立の専門性がマルチクラウド案件での評価を高める



● まとめ



試験は 125 問・3 時間、1000 点中 700 点が合格ライン（2024 年 8 月短縮）



難しさの核心は 6 ドメインの広さ・応用力・IT5 年の認定要件の 3 つ



取得後はクラウドセキュリティ設計の高単価案件に繋がしやすい

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

